

平成23年7月24日  
今週のベストショット



H23. 7. 24 青松園A 三苦フレンズ 対 新町ウインズ戦  
緊張のホームクロスプレー！！  
(写真：新町パイレーツ 石橋登)

雁レク4球場

三友クラブ	20002	4	勝投手：足達	HRなし
ブルーマーリンズ	11001	3	負投手：林	HRなし

この試合は三友クラブ足達敬祐投手、ブルーマーリンズ林拓未投手の投げ合いと、両チームの3番打者の活躍が目をつけた試合となった。一回表三友は、3番清水幸一選手の三塁打などで2点を先制するが、その裏ブルーも3番友重正司選手の二塁打などで1点を返し、二回には同点とする。点の取り合いになる様相を呈したが、三・四回は両投手が踏ん張った。試合が動いたのは五回。三友は今日3安打目となる清水選手の二塁打など4安打を集めて2点を奪う。何とか追いつきたいブルーはランナーを1人置き、3番友重選手の二塁打で1点を返したまでは良かったが、三塁を欲張りタッチアウト。続く4番林選手も倒れゲームセット。大事な所での無理な走塁が悔やまれる。三友クラブ清水選手は3打数3安打で、あとHRが出ればサイクルヒットだったが時間切れで残念でした。(記事：三苦ホーネッツ 松尾卓)



大活躍の三友クラブ清水幸一選手。試合展開から見て、HRも期待できただけに次打席があれば・・・。



ブルーマーリンズ林拓未投手の力投もあと一歩及ばず。早く1勝が欲しい。

## 青松園 A

三苦フレンズ 001011 3 負投手：塔本 HR：御手洗  
新町ウインズ 03110× 5 勝投手：早田 HR：なし

初回フレンズは、制球の定まらないウインズ早田投手から二者連続四球の後、3番生野選手はスリーバント失敗。4・5番が凡退に終わり、試合の流れはウインズへ。二回裏ウインズは、5番今林孝智選手が四球、6番泉圭祐選手・7番大久保浩選手の連続安打、1番桐島司選手の適時打などにより3点を先制する。一方、フレンズも三回と五回に1点ずつ返すが、ウインズも3回裏、4番久保田茂昭選手（シニア?）の好走塁により追加点を奪う。なかなか点差を縮められないフレンズは、最終回、先頭打者の5番御手洗文男選手の本塁打により2点差と詰め寄り、6番溝ノ上隆之選手の四球によりチャンスを作る。しかし最後は8番塔本真選手のセカンドゴロが痛恨の4-6-3のダブルプレーとなりゲームセット。この試合の勝因は、試合序盤こそ不安定な立ち上がりであったが、その後は要所を締めたウインズ早田投手の粘り強いピッチングと、1番桐島司選手の勝負強い打撃にあった。

（記事：新町パイレーツ 石橋登）



二回裏、相手WPで三塁を陥れるウインズ桐島司選手の走塁。



5回表に2点目の二塁打を放ったフレンズの3番生野猛選手。クリーンナップで1打点ずつ稼いだ。



尻上がりに調子を上げたウインズ早田主大投手。上位との対決でもこの調子で行きたい。



最終回、ソロ本塁打を放ちベンチでハイタッチのフレンズ5番御手洗文男選手。



## 青松園B

奈多クラブ	00002	2	負投手：今林（瑠）	HR：なし
奈多フェニックス	4902×	15	勝投手：池見	HR：池見

初回、フェニックス先頭打者から四球を挟んで五連続安打で4点を先制すると、二回にも7番池見選手の2ランなど打者一巡の猛攻で9点を追加し、勝負を優位に進める。対する奈多クラブも五回に四球と1番今林賢人選手の左前安打で無死一二塁とし、4番今林卓也選手のタイムリーなどで2点を返すが、序盤の大量失点が響き、奈多フェニックスが18安打五回コールドで勝利した。大量得点で快勝の奈多フェニックス。これで開幕からの連勝を7に伸ばした。15年ぶりの栄冠に向かって、連勝記録をどこまで伸ばす事が出来るだろうか。（記事：レッドサンデーズ 鳥羽晃弘）



一方的な試合の中、4番として意地のタイムリーを放つ奈多クラブ今林卓也選手。



初回、攻撃の口火となるタイムリーを放つフェニックス5番実延新伍選手。

## 奈多グラウンド

三苦三球会	024002	8	勝投手：原口	HR：澤田
ソルトベイスターズ	000210	3	負投手：中村（祐）	HR：なし

初回、三球会は二死から3番濱口裕也選手の右中間二塁打後、4番小倉圭太選手は痛烈な三直に倒れる。その裏ソルトは四死球と安打で一死満塁とするも、後続が絶たれ先制機を逃す。二回表三球会は、敵失と四球の走者をバントで送り、8番松永達彦選手、9番永吉真也選手の連続適時打で2点を先制。続く3回表、二死から5番塚太一選手、6番洪田正勝選手、7番上山浩選手の3連打で1点、死四球押出しを挟んで、勝負強い1番藤澤康隆選手が中前2点適時打を放ち6-0。一方ソルトは4回裏、先頭6番酒井哲朗選手が左翼線三塁打を放つと、すかさず7番田中裕次郎選手が中前適時打。その後内野ゴロの間に1点を入れるも、走塁ミスで2点止まり。五回裏ソルト4番田中広孝選手が左二塁打、6番酒井選手・7番田中祐選手の連続左前安打で1点。二死後、追加点かと思われた9番中村祐人選手の左直を三球会小倉左翼手が判断よく前進して好捕し、追いつがるソルト打線を断ち切る。最終回、三球会は2番澤田剛選手が右中間へ2ランを放ち、8-3で勝利した。三球会はエース吉留投手の不在を、原口剛投手の粘りの投球と野手陣でカバーして価値ある勝利。一方ソルトはマズい走塁死の後に安打という典型的な悪循環。点差はついたが、ソルトが逆転してもおかしくない内容だった。

（記事：奈多サンデーズ 八島久徳）



終盤バテたが、粘りのピッチングで踏ん張った三球会原口剛投手。



ピンチにマウンド上で円陣を組み、指示を伝えるソルト豊増英隆監督。



終盤ソルトに傾きかけた流れを切る三球会小倉圭太左翼手。このプレーが澤田選手のHRを呼んだ？



四回、6点差を追って三塁打を放つソルト酒井哲郎選手。ソルト打線がつながりかけたが・・・。



危うく守備の人になりかけたが、最後の一発を決めるあたりは、さすが三球会澤田剛選手。



走塁ミスは相手を助け、味方は苦しくなる。ソルトがもう一つ抜け出せない理由がここにあるのでは？



## 第12週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

今週は期限どおりにレポート・写真が揃ったので、火曜日のうちにUP出来ました。この調子で各編集委員さんは来週からも宜しくお願いします。

さて、今週も4試合が行われました。

奈多グラウンドでは、先週大逆転勝利したソルトが1敗で首位を追う三球会と対戦しました。

エースの吉留投手を欠く三球会でしたが、終始リードしての展開で、原口投手が最後までソルト打線の爆発を阻止しました。ソルトの走塁ミスがなければ、あるいは？という展開でしたね。青松園Aでは少ないチャンスをコツコツと攻め、ウインズがフレンズを下しました。ウインズは桐島司選手のタイムリーもありましたが、先取点と決勝点は内野ゴロの間の得点でした。サードランナーのスタートの良さで得点機にしっかり転がせる、犠打を打てるチームはノッて行きます。青松園Bでは、2回までに14安打を放ったフェニックスが奈多クラブを一蹴し、奈多サンデーズと並んで無傷の7連勝です。フェニックス1番今林勇太選手と2番今林文彦選手は揃って4打数4安打とホーネッツ顔負けの上位打線の爆発力です。8月21日の直接対決は今から楽しみです。中盤戦の大きな山場でしょうね。雁レク4球場では三友クラブと今だ勝ち星のないBマーリンズが1点を争う好試合を展開しました。両3番打者の頑張りにも注目が集まったようですが、やはり最後は走塁が勝敗を分けたようです。

男子ソフトボールの塁間は60フィート（18.29m）で野球の3分の2です。1周は240フィート（73.16m）です。単純計算で塁間2秒弱、HRでも8秒ほどしかかかりません。しかし、塁間が短いからこそ一瞬の判断が大事です。そのためには、ランナーがあらゆる場面を事前に想定して準備しておくことと、ランナーコーチがとても重要です。

夏本番となり、甲子園出場校も決まりました。みなさん高校球児に勝てとはいませんが、夏バテしないよう体調管理、栄養管理をお願いします。